



バーバ・ムクターナンダをたたえて スワミ・アカンダーナンダ

「テンプルの中にいなさい」のサツツァング

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信

2020 年5月7日 木曜日

ナマステー。シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで、ナマステーと——皆さんへ、ナマステーと——言う機会がある時はいつも、私の心の中ではとても特別なことを体験しています。私の心の中の神性は、あなたの心の中の神性に幸あれと祈っています。

火曜日の夜にシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでは、私たちの多くが、まばゆい天体現象を大いに楽しむという素晴らしい幸運に恵まれました。ニッテャーナンダ湖の上に白い月が昇ると同時に、ダンシングサークルの上に白い太陽が沈むのを見たのです。SYDA ファウンデーションのスタッフメンバーの一人は、「東に神、西にも神」と言いました。

このことは私に、5月のシッダ・ヨーガの道のウェブサイトのバナーを思い出させました。あなたもこのバナーを見たことを思い出すかもしれません。バーバ・ムクターナンダの太陽暦と太陰暦の誕生日を祝って、太陽と月の両方が描かれています。

今日のサツツァングは、バーバ・ムクターナンダの 112 回目の太陰暦の誕生日を祝うために開催されています。バーバの太陰暦の誕生日は、フラワームーンとして知られる5月の満月に祝われます。フラワームーンとは、花々が咲き乱れることなど、再生を連想させる春の季節を告げるので、そう呼ばれているのです。

今年のフラワームーン——バーバの誕生日の月——は、スーパームーンです。それは、月が地球を回る軌道上の最も近い地点の一つにあることを意味しています。従って、私たちに特別に大きく見えます。とりわけそれは存在感があります。

今日の満月はまた、ブッダ神の誕生を記念するブッダ・プールニマーの満月でもあります。

この2週間で満ちてきたバーバの誕生日の月の写真をシッダ・ヨーガの道のウェブサイトを提供してくださった皆さん、ありがとうございます。ご覧の通り、皆さんが送ってくれた写真は、ウェブサイトに掲載され続けています。世界中の風景やその土地を象徴するような建造物に縁取られたバーバの月を見ることは、バーバをたたえることで私たち全員がいかにつながっているかを思い出させます。

誕生日おめでとうございます、バーバ！



シッダ・ヨーガの道では、私たちは長年バーバの誕生日を祝ってきました。ですから、バーバの誕生日は彼が生まれた時からずっと祝われてきたと思っている人がいるかもしれません。しかし、最初のバーバの誕生日のお祝いは、彼が60歳の時に行われたことを皆さんにお伝えしたいのです。1968年のことです。バーバの誕生日が近づいた時、彼の大勢の信奉者たちが、バーバの誕生日を祝わせてほしいと彼に懇願しました。バーバは頼みを聞き入れ、彼らの願いをかなえました。

バーバの信奉者たちは、5月9日から5月12日までの4日間にわたる盛大なお祝いの計画を立てました。バーバの誕生日のお祝いには、インドの最も有名な音楽家たちを招いてのコン

サート、タンサ溪谷の村人たちへのバーバからの衣服の配布、そして、ブラーミンの司祭であるシュリー・バウ・シャーストゥリ・ヴァイジャプルカルによって行われた、世界のために至福を呼び起こすヴェーダの火の儀式である4日間のチャンディ・ヤジニャが含まれました。

そうして、バーバの誕生日を祝うという愛すべき伝統が始まったのです——この日をバーバに敬意を表す機会として、彼の恩恵と教えに対して最高の感謝の気持ちを表す機会として、そして彼の教えを忘れず、それを実践に移すことで、彼の遺産をたたえる機会として。

誕生日おめでとうございます、バーバ！



サツァングの初めに、自然の映像の動画を見ました。この動画は、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトの「自然を垣間見る」のコレクションに、多くの皆さんが送ってくれた美しい写真から作られました。

グルマーイは、彼女に代わって、皆さんに写真のお礼を言うよう私に依頼しました。グルマーイは、「あなたが『自然を垣間見る』に送ってくれた美しく、優美で、この上なく素晴らしい写真はすべて、常に与え続けてくれる贈り物のようです」と、言いました。

サツァングの始まりには、バーバが笑っている動画も見ました。この動画は、バーバがいかに頻繁に笑っていたかを私に思い出させてくれました。バーバには、とても愉快的なユーモアの感覚がありました。彼は笑うのが大好きでした！ 私はいつも、彼の笑いは、内面の至福の境地を外側で表現しているのだと感じました。そして、バーバが笑い出すと、皆も笑い出したものでした。

あなたはもう一つの動画——バーバが動物たちやあらゆる年齢の人々と共にいるところを映したもの——も見ました。この動画を見てバーバのダルシヤンを受け取っている間に、流れていた歌に気づいた人もいるかもしれません。この歌は、「What One Man Can Do (一人の人ができること)」という題で、アメリカの有名な歌手であるジョン・デンバーによるものです。あなたが聞いた音源は、1980 年にジョン・デンバーがカリフォルニア州サンタモニカで、バーバのために歌った時のものです。この歌手とグルとの間の愛は、明白でした。

この音源についての、もう一つの取って置きの話をしましょう。それは、その時の録音エンジニアが、スワーム・アサンガーナンダだったということです！ 当時、彼は大変若かったのです。過去 13 年間にわたって、スワーム・アサンガーナンダはシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで、バガヴァーン・ニッテャーナンダと彼のテンプルのお世話を担当してきて、今も継続しています。ありがとうございます、スワーム・ジ。

ジョン・デンバーはこの歌をバーバのために作ったと、多くの人は思っています。しかしながら、ジョンがバーバに歌った時、ジョンはこの歌を彼が「バックキー」と呼んでいた、彼の親しい友人で良き師であったバックミンスター・フラーのために書いたのだと、説明しました。バックミンスター・フラーは、著名な建築家で、先見者でした。私は十代の頃、バックミンスター・フラーの多くの革新的なデザイン——ジオデシックドームから車まで——に刺激を受けたことを覚えています。

彼の発明は、より少しのものでより多くを成すこと、そしてこのようにして、地球の資源を守りながら、人類のためにより良い生活を作ることがすべてでした。「一人の人ができること」。その時ジョン・デンバーは、なぜ、この歌をバーバのために歌っていたかについて説明しました。彼には2人の親友がいて、そのどちらも、彼にとってとても大切なのだと語りました。その1人はバックミンスター・フラーで、もう1人はバーバであったと。ジョン・デンバーは 1980 年に、バックミンスター・フラーをバーバに紹介することさえしました。

ジョン・デンバーのこの歌は、シッダ・ヨーギである私たち皆にとっても、非常に意味深いものです。なぜなら、それはバーバが行ったことを表現しているからです。彼の師であるバガヴァーン・ニッテヤーナンダの命を受け、バーバ・ムクターナンダは、シッダ・ヨーガの教えを伝え、恩恵を授けるために世界中を旅しました。バーバは、1970年から1982年までの間に3回の世界ツアーに行き、何万人もの探究者たちを、自分自身の内なる大いなる自己としての内側の神の存在に、目覚めさせました。

バーバは、世界に向けて、シャクティパート・ディークシャーとして知られる神秘的な伝授——探究者の中のクンドリニー・エネルギーを覚醒させる伝授——を紹介した、まさに最初のグルでした。彼は毎日サツァングを行い、彼の象徴的な教えを伝えました。

「あなたの大いなる自己をたたえなさい。

あなたの大いなる自己を崇拜しなさい。

あなたの大いなる自己に瞑想しなさい。

神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」

この8月は、バーバの最初の世界ツアーの黄金の記念祭、50周年の記念の月です。バーバの教えや彼の恩恵についての物語を聞き、学び、自分自身のサーダナーに応用することができるのは、私たちにとって名誉なことです。バーバは、彼の人生の一瞬一瞬に、人々の人生を変容させました。バーバは、グルでした——サンディエゴの通りを歩いていようと、誰かが彼の写真を見たり、もしくは実際に会ったりしようと、彼が一言、あるいは講話すべてを話そうと、台所で料理をしていようと、あるいは私たちが奇跡と見なす行いをしようと。

ダルシャンのために、彼の前に来た人の人種、カースト、信条を気に掛けず——バーバは、グルでした。

お誕生日おめでとうございます、バーバ！



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。